

# 佐藤 たかあき 通信

由布市議会議員



創刊号  
【2020年1月】

Challenge The Future!

由布市 **You** ターン 戦略  
若い力で故郷に貢献!  
未来に挑戦!

討議資料

佐藤 たかあき 通信 / 創刊号 《発行所》 佐藤 たかあき 後援会事務所 (由布市庄内町大龍 1704 番地 TEL. 097-574-8200・FAX. 097-574-8206 / info@satotakaaki.com)

## 持続可能な 未来のカタチ

令和元年4月から議員バッジと17色でできた丸い「SDGs」のバッジを胸につけているとよく質問されます。「SDGs」とは「Sustainable Development Goals(サステナブル・ディベロプメント・ゴールズ・持続可能な開発目標)」の略称であり、2015年9月に国連で開かれたサミットの中で世界のリーダーによって決められた、国際社会共通の全世界のすべての人たちが持続的に人らしく生きるための17の目標をあらわすバッジです。これらを活用することにより、行政、民間事業者、市民などの異なるステークホルダー間で地域創生に向けた共通言語を持つことが可能となり、政策目標の理解が進展し、自治体業務の合理的な連携の促進が可能となり、地域創生の課題解決を一層促進することが自治体にも期待されています。令和元年6月議会の一般質問にて由布市でも「SDGs」の取り組みを促したところで「持続可能な」を推進するためにバッジを胸に掲げています。

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



議席番号 1番

さとう たかあき  
**佐藤 孝昭**

由布市議会議員  
由布市庄内町大龍1654番地  
(大龍東部1区西鶴班)

(平成29年11月14日～令和元年11月19日)

市議会所属委員会

- 教育民生 常任委員会
- 議会広報編集 特別委員会(副委員長)
- 議会活性化調査 特別委員会
- 議会予算・決算 特別委員会
- 由布市農業集落排水事業運営協議会(会長)
- 由布市水道事業運営協議会
- 由布市都市計画審議会
- 庄内町屋内競技場運営委員会

その他所属会

- 東庄内地区開発促進協議会(会長)
- 阿蘇野期成同盟会(顧問)
- 未来ある村・日本農泊連合応援団(顧問)
- 由布市バレーボール協会(会長)
- 総合型地域スポーツクラブ  
みことスマイルインクラブ(顧問)
- 庄内地域活性化団体  
道の駅しようない市民ネット(顧問)

お問い合わせ

佐藤 たかあき 後援会事務所

〒879-5413 由布市庄内町大龍 1704 番地

TEL. 097-574-8200 FAX. 097-574-8206

info@satotakaaki.com

編集後記

さてこの度、当選より由布市議会での議会活動内容や地域での議員活動内容を皆様にお伝えをする手段を模索しておりましたが、やっと2年をかけて「佐藤 たかあき 通信」を編集することができました。今回の創刊号に当選から今までの一区切りである2年間をまとめ、構成しました。お時間の許す限り、目を通していただければ幸いです。次回からは

半年に1回のペースで編集してこうと考えています。たくさんの方々に、議会のこと、私の思いや考え、活動をお伝えし、また地域で頑張っている方々もご紹介しながら、いろんなご意見や温かい叱咤激励をいただきたいと思っています。より多くの皆様のご理解ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

# 世の中は“平成から令和へ”と新しい時代へ 新しい令和時代の由布市への思いと決意

みなさま、こんにちは。いつも佐藤孝昭を温かくご支援いただき深く感謝いたしております。私は、みなさまのご支援により平成29年10月に由布市議会議員に最年少議員として初当選させていただきまして、早いもので2年を経過させていただきました(感謝)

さて、この5月から「平成」という時代も終わり、いよいよ「令和」の時代が始まりました。みなさまは、どのように平成時代を振り返り、どのような気持ちで新しい令和の時代をお迎えになったのでしょうか。

日本は、平成時代から振り返りますと、人と人とが暴力や戦争などで傷つけあう事がなくなり平和が訪れ、医療の技術や薬の開発が進み長寿できる世の中になった分、新たに自然災害との戦いが始まり、減災・防災の意識と命を守る対応を考えなければいけない時代になったと思います。さらに、人口減少がもたらす社会問題や少子化問題がどの自治体にも降りかかり対応に苦慮している時代でもあります。地方には若い世代が少なくなり、その負担が高齢の方々にも降りかかって老後は楽ができるはずが先延ばしされ負担を担っていただいている現状です。

わが由布市も平成の大合併をして15年目を迎え、新たな飛躍を期待し夢や希望を膨らましたあの時を思い出されます。嬉しいニュースや悲しい出来事もたくさんありましたが、由布市の行政や議会といえば、現実はまだ埋まらない3つの各々での町単位での垣根、乗り越えなければならない幾多の課題にも直面しております。でも、課題解決のために私は、

**「みなさんと本音でとことん話し小さな声を拾い上げていきます！」**  
**「発想・発信・発動をもってクレバーな(賢い)強い由布市にします！」**  
**「帰りたい故郷、帰れる故郷、帰って良かった故郷を地域に創ります！」**

由布市のために一市議会議員として果たすべき役割とみなさまにいただいた負託に応えられるよう全力を尽くしてまいります。由布市も時代の変化に対応し臨機応変に難題に取組み対応していかねばなりません。時代が変わり、由布市も変わります。より良い由布市を創るために、行動を起こさなければなりません。私たちの未来は、決して暗いものではありません。

さあ、みなさんで心躍る未来づくりを、やりましょう！

由布市議会議員 **佐藤孝昭**



私の

## 佐藤孝昭の一般質問集

### 由布市議会 平成29年 第4回定例会

H29年10月22日実施の  
由布市長・市議会議員  
選挙を終えて

**Q** 71.9%の投票率を、18・19歳の投票率も含め、どう考えますか？  
**A** (選挙管理委員会事務局長) 18歳59.76%、19歳47.73%の投票率を見ても、選挙における関心度や投票率の向上を測る対策が必要と考える。

**Q** 投票率を向上させるために中津市等でも取組んでいる、移動支援無料バスなどで行きたいけど行けない方への支援をしたらどうか。  
**A** (選挙管理委員会事務局長) 投票率アップ等の手法はいろんな手法があるので、支援バスに限らずほかのことも検討して行きたい。

### 由布市のまちづくりの 取り組み姿勢について

**Q** 合併前からの旧3町の条例の整合性と挾間・湯布院地域の用途地域の見直し、庄内地域の用途地域の設定し青図を示すべきでは。

**A** (市長) 各地域の特性と観点から現時点では統一を図るのは難しい。また、庄内地域の用途地域は大規模な土地利用や開発の動きが少なく、指定については今後の動向を注視しながら検討したい。

**Q** 大分銀行小野屋支店の挾間支店への移転で本庁のある庄内地域に窓口業務のある銀行がなくなり住民は不便になり、市が推進する移住者定住や企業誘致に影響はないのか。  
**A** (市長) 既に大分銀行の役員会で決定して困難との回答だった。市民の利便性に配慮するよう要望していく。

### 由布市の 基本ビジョンについて

**Q** 農業・農業法人の将来性、遊休農地の有効活用と後継者・担い手不足の解消の基本ビジョンは。  
**A** (市長) 現在、農地中間管理機構が担い手への農地集積集約化を推進し、農地の有効利用の継続や農業経営の効率化を地域ぐるみで取り組んでいるところで、今後の取組みでも新設置の農地利用最適化推進委員と連携し、遊休農地の発生防止・解消を図り、由布市に合った奨励品目の普及にも努めたい。

### 現在の庄内地域での 「道の駅」設置の構想 について

**Q** 本庁のある地域での産業振興や農業、観光、商業、防災の機能を持つ拠点が重要と考えるが今の由布市の設置の考えは。  
**A** (市長) 設置場所や施設構成、機能を初め、町づくりの分野との連携、地域の皆さんの機運の醸成、公共施設等総合管理計画など様々な要素により総合的な判断が必要で、市として設置の方向性は持っていないが、今後十分な調査・研究を行う必要がある。

### 由布市議会 平成30年 第1回定例会

### 由布市における救急 体制と状況について

**Q** 今年度の消防車及び救急車等の出動件数と平均到着時間は。  
**A** (市長) 今年の1月までの出動で、火災は22件で平均13分、救急は1582件で平均6分です。

**Q** 救急に備えての人員・車輛・

夜間体制、緊急要請が重複時の対応は。  
**A** (市長) 人員は本署に8名、庄内・湯布院出張所に各4名で昼夜とも同体制です。救急車は各所1台ずつと予備車1台で緊急要請が重複した場合は近隣市町と消防本部へ相互援助協定により出動要請を行います。

**Q** ドクターヘリの活用実績と着陸地の整備状況はどうか。  
**A** (消防本部総務課長) 今年度由布市内は19件出動しています。着陸地は基本小中学校を含んだグラウンドですがパイロットが着陸可能と判断した場所、耕作してない田畑や高速道路などどこでも着陸いたします。

◆ドクターヘリがとまる場所の選定をし周辺環境の整備と周知徹底を。  
**Q** 道路で緊急車輛の入らない地域や場所の把握と整備の対応は。  
**A** (市長) 実際に消防車や救急車を走行させ調査をしています。(建設課長) 建設課としては、把握していませんが、緊急車輛が入らない3.5m以下の道路が市内186kmある事は認識しています。

**Q** 提案ですが、山間部も多く狭い道路状況の由布市には、小回りもきき予算的にも維持費的にも安価ですむ「軽の救急車」を導入して

はどうか。  
**A** (消防長) すばらしい救急車ですが、4人乗車で小さい部分や車輛の認可を受ける条件もありますので、より一層の研究をしていきたい。

(市長) 大変活躍する場面もあろうかと思うが、認可の基準など認識してからの今後検討課題だと捉えています。

**Q** 由布市の鳥獣被害防止計画と今年度の鳥獣被害額は。  
**A** (市長) 平成29年から3カ年計画で30%以上被害削減を目標に策定。(農政課長) 被害額は12月末時点で1499万で緩やかな減少傾向です。

**Q** 由布市の有害鳥獣捕獲者の人数と平均年齢は。  
**A** (農政課長) 捕獲員は由布市で102名で平均年齢は68.5歳です。

**Q** 鳥獣対策で狩猟者の確保、捕獲対策、獣肉利活用対策の面で、女性の力を創出させ「狩りガール」や「ハンター女子」の取組を推進させ移住古民家を改造ジビエカフェ開業、捕獲補助金での職業化に取組んでは。  
**A** (市長) 大変いい取組と認識している。担い手などの把握と由布市でどのような活動ができるか十分調査、研究していきたい。

◆捕獲された鳥獣は8割が埋葬もしくはゴミ焼却されていて1

割程しか活用されていないようだが、由布市に食肉処理加工施設を設置し由布ブランドを創ってほしい、民間企業の力を借り補助金で後押ししてほしい。

**Q** 「(仮称)道の駅しようない」設置の市の実施計画にのせられないか。

**A** (市長) 現在具体的な道の駅建設の計画は考えていませんが、その方向性については十分調査研究を行い、その上で判断いたします。

**Q** 「(仮称)道の駅しようない」の勉強会もしくは準備委員会等を立上げ調査研究していきたいので、由布市としても設置に向けて市長からも職員の方々に全面的に協力をと指示を出していただきたい。

**A** (市長) そういった市民の皆様のような活動には、職員も携わっていくのがいいので庄内振興局を中心に指示を出したいと思います。

### 由布市議会 平成30年 第3回定例会

由布市の  
スポーツ振興について

**Q** 市内中学校の児童の部活

由布市の庄内地域の  
地域振興について

**Q** 都市計画の未設定の庄内地域に準都市計画の設置の検討して将来図を示すべきでは。

**A** (市長) 庄内地域の都市計画法に基づく基準が該当しませんが将来の展望を開く施策としては市の私有地の有効活用を進めていきます。

**Q** 道路などのインフラ整備計画に優先順序などの基準はあるか。

**A** (市長) 明確な基準はなく、総合的な観点から議論して判断している。

**Q** 他市で公共事業整備優先順位基準を設け実施の所があるが、この基準があり進めれば、市民と行政が要望順位など共有でき取り組み易いのでは。

**A** (建設課長) 道路整備、維持、安全施設など要望がたくさんあります。限られた財源で効果的に事業を發揮するよう今後研究したい。



\*ほかに「由布市の庄内地域の地域振興(道の駅しようない)」「森林経営管理制度」について質問しました。

動の存続と選択肢は十分なのか。

**A** (教育長) 生徒減少で一定数を必要とする部活動の存続はかなり困難。生徒の希望に沿う部活動を用意し、今後も適正な運営を指導します。

**Q** 由布市の総合型地域スポーツクラブの位置づけは。

**A** (教育長) 総合型スポーツクラブは市の社会教育支援団体と位置づけ。市民を対象に幅広くスポーツに参画する環境を提供し、民主的自主的な運営を行い社会教育活動を行う団体と認識しています。

**Q** その市民のために活動する社会教育支援団体が補助金期間も終わり、運営が厳しくなっている現状を市として協力や支援は何かできないか。

**A** (市長) 大変重要な役割を担っている団体ができる限りの支援をしていきたいが、自主的運営も重要なので実現の支援体制も模索検討します。

由布市のまちづくりの  
取り組みについて

**Q** 挟間・湯布院地域の都市計画の見直しを。都市計画未設定の庄内地域に準都市計画の設置の検

### 由布市議会 令和1年 第2回定例会

由布市の  
地域まちづくりについて  
(庄内・阿蘇野地域の課題)

**Q** 高齢に伴う免許証の返納支援で各公共交通機関の代金助成を一部してが挟間の医大近辺の方と庄内の駅までタクシーで片道6千円程かかる阿蘇野地区の助成が公共交通網も充実していないのと同じなのはどうか。

**A** (総合政策課長) 地域性や地形によって状況が違うのは分かるが、基準や線引きが難しく、現在の地域も一律の補助券となつています。

**Q** 阿蘇野地域にある、JAの販売店とガソリンスタンド、さらに郵便ポストを廃止、統合、撤去を申出があり困っているが、市は把握しているか。

**A** (市長) 市は把握していません。そういった協議についても市としても全体的な地域づくりの観点から話し合いを持つ必要があると思つている。

**Q** 由布コミュニティ事業の取組実績と自治区数と今年の応募数は。

**A** (市長) 平成30年度末までで

討して将来図を示すべきでは。

**A** (市長) 挟間・湯布院地域の都市計画道路用途地域の見直しの検討を進めています。庄内地域の都市計画法に基づく基準が該当しませんが将来の展望を開く施策としては市の私有地の有効活用を進めていきます。

**Q** 道路などのインフラ整備計画に優先順序などの基準はあるか。

**A** (市長) 明確な基準はなく、総合的な観点から議論して判断している。

**Q** 他市で公共事業整備優先順位基準を設け実施の所があるが、この基準があり進めれば、市民と行政が要望順位など共有でき取り組み易いのでは。

**A** (建設課長) 道路整備、維持、安全施設など要望がたくさんあります。限られた財源で効果的に事業を發揮するよう今後研究したい。

\*ほかに「由布市の情報発信につ

いて」について質問しました。今回は7月末に行われた市政報告会(意見交換会)庄内会場で市民の方から多く出た意見を執行部へ一般質問させていただきました。



32団体66自治区が実施しました。今年度は現在のところ応募した団体はありません。事業の継続性が課題です。

**Q** 地域の活性と諸問題解決の事業のほがだが、補助金をもらえない期間だけの単発事業で終わっていないか。取組検証、成果発表会など行ったのか。

**A** (総合政策課長) 何自治区、何団体かは精力的に今も継続している。ただ補助金期間がすぎると継続が問題で他の補助金事業で継続する所もあります。発表会等は以前は開催していたが、この事業は現在はありません。

**Q** 由布コミュニティ事業の継続を他の補助事業で継続ありきで行うのどうか。単発の中で結果・結論を出し、しっかり精査して今後事業を考えてほしい。

\*ほかに「市の職員の公務員給与について」「市のマイクロボス運行管理規程について」「県議会議員選挙の投票率向上について」「ドクターヘリポートの整備」「阿蘇野地域との公共交通計画質問」しました。



### 由布市議会 平成31年 第1回定例会

由布市の  
教育方針について

**Q** 由布市の学校規模適正化計画の今後の方向性は。

**A** (教育長) 児童数見込や庄内地域の児童数減少が顕著なこともあり、今後の推移を精査し2020年度に見直しを図る予定。

**Q** 今後構想にあがるであろう小中一貫校構想。教育環境とその地域の地域活性化を踏まえた計画に肉付けを早めに方針付けしてほしい。

由布市のスポーツ振興・  
取組について

**Q** 減少する生徒数の中で中学校の団体競技等の部活動の方針は。

**A** (教育長) 29年度に制度化された部活動指導員を配置し外部指導員と連携し部活動活性を図り、団体競技は市内内外の連合チームを検討します。

**Q** 部活指導員や外部指導員などの指導や育成・管理・補充や配置を教職員負担軽減の為、市内で活動している総合型スポーツクラブと連携しては。

### 由布市議会 令和1年 第3回定例会

由布市の地域創生の  
政策(人口減少の克服)  
について

**Q** 由布市が県の人口推計報告を見るに社会増になっているが要因は。

**A** (市長) 高校生まで医療費無料化と企業支援制度に加え、民間工場の移設・新設等が要因かと。

**Q** 財政難の中、効率的に人口減少を克服する為、由布市にできて隣の市ではできない政策、どこに向け力を入れアピールをするかを研究する為の細かい分析はできているのか。

**A** (総合政策課長) 状況を見ながら分析はしている状況です。

**Q** 市営住宅に入居資格のある方を対象に、毎月2万円程の補助をする民間賃貸住宅家賃補助制度を導入し、老朽化する公営住宅を減し、入居者も選択肢が増え、民間賃貸オーナーも空室対策にもなるが検討されては。

**A** (市長) 公平性等を十分検討し、必要があると思つ。

由布市のインフラの  
維持管理について

**A** (スポーツ推進課長) 大分市の中学校では、総合型スポーツクラブと協力して指導にあたり活発的に部活動を行なっている成功例もあります。

由布市のインフラ整備・  
取組について

**Q** 由布市自治委員連合会からの要望数や取組み状況は。

**A** (市長) 自治委員連合会からの要望はH22年度より始まり、今年度分の83項目をあわせ900件余りいただいております。予算や事業規模の関係で単年度では解決できず複数年にわたっているものもあります。

**Q** 900件もの要望を一度精査する必要があると考えますが。

**A** (総務課長) 継続的に出ているものなど十分精査が必要と考えます。

**Q** 市道の整備、維持、改修、修繕等の実施が思うように進んでないが。

**A** (市長) 市道路線757路線を管理しているが進んでないのが現状。

**Q** 前議会で提案した公共事業整備優先順位基準の策定は。

**A** (市長) 現在、策定協議会を設置し、要綱や審査基準を協議中です。

**Q** 市の行っている道路左右のり面1m、車輛にあたる枝木だけの伐採する草刈管理維持では、対象範囲外の草木や樹木が地元では管理できない程成長しているが、3年から5年に1回は市で効率的に範囲を決め行つては。

**A** (建設課長) ご提案のとおり、後の維持管理についても楽になるかと思つています。ご指摘ご提案は今後、状況把握と研究・検討いたします。

由布市の防災体制  
について(台風8、10号  
の直撃を受けて)

**Q** 警戒レベル4の全員避難指示が出たが全員避難所に避難したのか。

**A** (防災安全課長) 今年5月末から5段階の警戒レベルを用いた防災情報の運用が始り、避難は避難所に限らず安全な場所に避難する定義です。

**Q** 今回私も巡回しましたが、避難所の開放等の情報が消防団には連絡があつたようだが、地域を把握している自治委員や民生委員に情報連絡する必要はなかったか。

**A** (防災安全課長) 市民には防災ラジオ等で行つてはいるが、今後は確実な伝達と意味で、市から各当該の自治委員に直接連絡して避難誘導等をお願いしたいと思います。

令和1年 第2回 定例会 (6月18日)

(1) 由布市の地域まちづくりについて

**指摘** コミュニティ事業の応募がなくなり別の事業に移行しているが精査しているか。

**意見** 補助金を出す事業はその事業の中で成果が出るよう指導、監修してほしい。

(2) 由布市の職員公務員給与について

**指摘** ラスパイレス指数が県内1高いと新聞発表があったが現実はどうなのか。

**意見** 給与が低いことで優秀な人材の確保に影響のないように。

(3) 由布市のマイクロバス運行管理規程について

**確認** バスは公用車と同じ物品で市民が気軽に使う公有財産ではない。

**意見** マイクロバスの使用規程を市民に分かり易く提示するように。

(4) H31.4.7実施の統一地方選挙(県議会選挙)を終えて

**指摘** 20歳以下の有権者の投票率が低下している。意識向上の取組を。

令和1年 第3回 定例会 (9月12日)

(1) 由布市の地域創生の政策(人口減少の克服)について

**提案** 賃貸アパート促進と公営賃貸住宅の整理と管理費削減、定住促進のため「民間賃貸住宅・家賃補助制度」の導入を検討してみたい。

(2) 由布市のインフラの維持管理について  
(膨大となって雑草や雑木の管理)

**提案** 今まで対象になっていない部分の2,3年単位での定期的な管理を。地域の方の負担を軽減してほしい。

(3) 由布市の防災体制について(台風8,10号の直撃を受けて)

**効果** ◎ 防災ラジオ利用設置の再度市報等でのお知らせ。

◎ 避難所開設や情報は、関係自治委員に連絡があるようになる。

◎ 災害状況の情報の開示が、今後は市民が確認し危機管理が

**意見** 自主防災組織の設立、計画に市も関与してマニュアル化を。

平成31年 第1回 定例会 (3月5日)

(1) 由布市の教育方針について

**指摘** 閉校した阿蘇野小学校の在校生の通学条件について。閉校の決定時の約束事の誠実な対応を。

**指摘** 大幅な少子化の庄内地域は教育基本計画で小中一貫の構想が出ると思う。

**提案** 教育環境とその地域の地域活性化を踏まえた計画に肉付けを早めに方針付けしてほしい。

(2) 由布市のスポーツ振興・取組について

**提案** 総合型地域スポーツクラブによる部活動支援を受けたらどうか。

(3) 由布市のインフラ整備・取組について

**指摘** 自治会連合会からの要望(H22より約900件)出てて実施できるのか。

**提案** これまでの要望を地域に1度戻し、優先順位をつけ実施して行っては。

**効果** 令和1年より優先順位をつけ実施していくようになる。

(4) 由布市の庄内地域の地域振興について

**指摘** 市都市計画マスタープランの理念の「にぎわいのあるまちづくり」は創出できてるのか。

**提案** 交通センサスでも高い交通量の210号線に「道の駅しようない」を検討するべきでは。

(5) 4月より施行される森林経営管理制度(森林経営管理法)について

**意見** 市民から税として徴収するものなのでその取組説明、効果を明確に。

**指摘** 落成から9ヶ月で使い勝手の悪さや指摘を多く受ける状況はなぜか。

**【回答】** 教育長より利用者の目線に立った配慮が不足し深く反省している。

(5) 旧阿蘇野小学校の利活用について

**指摘** 小学校跡地の利活用も1年経つが好転せず、市から具体的な計画案も示されない。

**【回答】** 市長より地域コミュニティの拠点として地域資源を生かした中核施設で利用を。

**Q** 市長は、由布市としてどのような利活用が望ましいとお考えか。  
**A** (市長) 地域コミュニティの拠点施設として地域資源を生かした高齢者支援や地域活性化の為に中核施設での役割を果たすことが望ましい。

旧阿蘇野小学校の利活用について

**Q** 今後の大型施設建設事業に生かされて行くのか。  
**A** (教育長) 経過や実績、反省点を踏まえ十分精査を行い進めていく。

**Q** 落成から9ヶ月で使い勝手の悪さや指摘を多く受ける状況はなぜか。  
**A** (教育長) 利用が始まり、利用者よりドアの手動が不便と御意見をいただいている。利用者の目線に立った配慮が不足し深く反省している。

由布市の大型建設事業(新庄内公民館)について

◆市には、しっかりと地域に入り込み、その地域なりの自治防災組織ができるよう指導・マニュアル化をお願いいたします。



一般質問まとめ

平成30年 第1回 定例会 (3月7日)

(1) 由布市における救急体制と状況について

**提案** 道路幅の狭い山間部や住宅地の為に「軽の救急車」を提案。⇒ 道幅も狭くてOK!!

(2) 由布市の農政について

**指摘** 減少傾向というが龍原地域では有害鳥獣被害で困惑してるが把握しているのか。

**提案** 有害鳥獣捕獲者の確保のため「狩ガール」や「ハンター女子」を推進支援しては。

(3) 「道の駅しようない(仮称)」構想について

**提案** 道の駅の可能性の勉強会を立上りたいので市の職員からも協力してほしい。

**【回答】** 市長より庄内地域振興局を中心に携わるよう指示を出します。

平成30年 第3回 定例会 (9月10日)

(1) 由布市のスポーツ振興について

**提案** 総合型地域スポーツクラブを支援し市のスポーツ振興を担わして行っては。

**効果** 総合型地域スポーツクラブに委託料などで支援をいただく。

平成29年 第4回 定例会 (12月8日)

(1) H29.10.22実施の由布市長・市議会議員選挙を終えて

**提案** 投票率UPのため投票困難者の支援策で「移動支援無料バス」を。

(2) 由布市のまちづくりの取り組み姿勢について

**確認** 農地付中古物件取得の条件で5反の耕作地が必要だが緩和で0.1反になった事。

**指摘** 大分銀行小野屋支店の移転での市の対応。

(3) 由布市の基本ビジョンについて

**提案** 庄内地域に都市計画区域を指定しまちづくりの青図を示すように!!

(4) 現在の「道の駅」構想について

**確認** 現時点では設置の方向性はなく計画は考えていない。

(2) 由布市のまちづくりの取り組みについて

**提案** 庄内地域に準都市計画区域を制定し、活性化の青図を示して行くべき!!

**提案** 「公共事業整備優先順位基準」を設けて点数化し市民に分かり易く整備実施を。

**【回答】** 建設課により優先順位基準が設けられ実施される。

(3) 由布市の情報発信について

**指摘** 市の独自の取組やイベントなどが情報としてHPやSNSなどで浸透してない。

## 地域活動



### 由布高校・大龍ウォークラリー学習

由布高校生徒と大龍地域を住民の方に触れながら、まだ知られていない史跡や観光資源など。高校生の若さがまがしかったです。



### 小野屋かんのん市で餅つき

小野屋で毎月開催している「かんのん市」で頑張っている皆様と餅つきを行いました。保育園の子供たちも寄ってくれて楽しい1日でした。

## ボランティア活動

ボランティア活動をするため、由布ライオンズクラブに入り、起業家としても活動を行っています。



### 環境保全奉仕事業

年に1度、由布・三重・竹田・府内ライオンズで国道沿いをゴミ拾い奉仕作業を行っています。



### 毎月の交通安全運動

挾間町の三差路に毎月1回交通安全呼びかけと子供達へのあいさつ運動に参加しています。



### 青少年健全育成事業 チャリティーゴルフ大会

年に1回チャリティーゴルフ大会を行い、益金を青少年健全育成の為に助成し使ってもらっています。



### ドローン寄付式

平成30年、由布ライオンズ25周年の記念に由布市にドローンを寄付いたしました。

## 各・シンポジウム



### APU大学観光シンポジウム

大学と提携して学生と地域振興を行っている市の取り組み発表会。外国の方の取り込みも由布市でも必要です！ビジネスチャンスを考えさせられました。



### 日本農泊連合シンポジウム

安心院で行われた全国シンポジウム。農業民泊で地域活性のチャンスを感じました。

## スポーツ活動



### プロとバレーボール教室

子供たちにプロのバレーボール選手と触れ合ってもらおうと初の試み。将来の宝のために続けたいと思っています。プロを目指したい子供が増えるといいなあ。。。

## 地域活動

### 道の駅プロジェクト活動



### 庄内活性化グループ 「道の駅しょうない市民ネット」を 創設し座談会開催

庄内地域出身議員としてこれからの庄内地域を考えた時に、庄内地域に何か活性化拠点施設が必要と考えています。その拠点施設として庄内には「道の駅」が地のり、土壌、交通量とも合っていると思っています。そこで、地域の皆様と徹底的に話す場をつくり道の駅の勉強会、座談会を開催しております。



### ワークショップ活動や親睦会

座談会では勉強会だけでなくワークショップで市へ意見書を提出したり、親睦会で道の駅クイズ大会などを行っています。参加登録数は今、老若男女50名近くになっています。今後とも邁進してまいります！



### 由布市 バレーボール協会会長になりました。。。

ご縁をいただきまして由布市バレーボール協会の会長を拝命しました。バレーを通じ各種大会でたくさんの方と出会い競技スポーツとして生涯スポーツとして愛される競技にしていきたいと思っています。



### 議会活性化ICT研修 (R01.7月)

派遣研修から由布市に推進するため研修を由布市議会で開催してもらいました。  
【効果】大量の印刷物を保管がタブレットででき、報告会など持込が容易。事務局も準備が簡素化できる。



### 由布市女性団体との 意見交換会 (R01.8月)

女性団体からの事前の質問事項に担当委員会別に少し私見を入れて話させていただきました。



### 由布市 旧町別市民意見交換会 (H30.7月)

議会は活性化委員会を中心に由布市旧3町単位で市民意見交換会を行いました。参加者も各町とも少なく内容と広告も議会に興味を持ってもらうよう考えなければと考えさせられました。

### 議員ソフトボール大会



### 議員ソフトボール大会 (R01.6月)

大分県下市町別議員ソフトボール大会がありました。わが由布市は別府市に勝ち佐伯市に惜敗しベスト8でした。ちなみに私はセカンドで5番でした！！



### ICT議会研修 in 東京 (H31.1月)

議会情報開示推進や議場ICT化でのペーパーレス化の進めを学んで由布市議会にも紹介しました。



### 地域プロモーション研修 (H31.2月)

人口減少社会を勝ち抜く視点や議会改革の必要性を研修してきました。効果は一般質問で行いました。

### 議会としての各種研修や 意見交換会



### 市役所主催 地球温暖化研修会 (H30.8月)

昨今の災害は昔に比べて多く、起れば甚大な被害が特徴となっている。そのメカニズムや予見などを研修。



### 大分県 野生鳥獣被害軽減研修会 (H30.8月)

増える有害鳥獣の生態把握の必要性、効果的な駆除のやり方、今後の展望など博士と研修。

## 活動報告

### 議員活動

### 議会教育民生常任委員会視察



### 委員会視察 in 新潟 (H30.11月)

新潟県の燕市と長岡市に行きました。健康づくり事業で株式会社と提携し「タニタカフェ」を役所内に入れ利用者に健康ポイントを付与し官民で健康に取り組んでいました。



### 委員会視察 in 北海道 (R01.07月)

北海道で「こども未来館あいぼーと」と「あすかの森認定こども園」を視察しました。こども未来館は小中高生の居場所づくりの取組。こども園は完全民営化の幼保連携型認定こども園での運営について学びました。  
わが市における教育民生は県都の隣市ではできないが、わが市ではできる政策がたくさんあり、これらを早く研究、詳しく分析し、事業として打ち出していくことが必要と思いました。

### 由布市議会・議員派遣制度

由布市では議員報酬以外に他市にある「政務調査費」という研修費や広報誌に使える費用の手当はありません！そこでこの申請制度の「議員派遣制度」があり、これを活用して研修に行くことができます。



### 当選1期新人研修 in 東京 (H30.2月)

効果的なが一般質問のやり方や議会での発言など新人議員向けの研修を6人で受けました。

地域活動



2018.09.17 龍原老人会



2018.09.16 阿蘇野小学校運動会(最後)



2017.12.17 龍原イルミネーションまつり



2017.11.09 大龍まつり



2018.11.17 龍原芋掘りフェスタ



2018.11.10 挟間きちよくれ祭り



2018.11.03 庄内ふるさと祭り



2018.10.14 別府大分県畜産共進会



2019.08.17 小野屋十七屋祭



2019.8.10 大龍東部2区夏祭り



2019.4.14 龍原チューリップ祭り



2018.11.29 大分県畜産共進会チャンピオン祝賀会



2019.9.16 五ヶ瀬敬老会



2019.9.15 大龍東部1区敬老会



2019.9.14 大龍西部敬老会



2019.8.25 大龍東部1区西鶴お獅子供養祭

議員活動



佐藤たかあきの活動日誌



2018.04.22 ゆふいん温泉まつり



2018.01.10 湯布院駐屯地成人式



2017.11.25 挟間ならねっ子まつり



2019.01.20 自衛隊大分地方協力本部64周年記念行事



2019.01.18 由布市消防団特別点検



2018.05.20 湯平おんせん祭り



2018.04.29 黒岳山開き祭



2019.02.23 自衛隊ヘリコプター乗車会



2019.02.20 大分県内一周駅伝大会2



2019.02.20 大分県内一周駅伝大会1



2019.02.02 由布市青少年健全育成市民会議研修会



2019.5.16 大龍井路水恩祭



2019.5.12 由布岳山開き祭2



2019.5.12 由布岳山開き祭1



2019.03.03 阿蘇野小学校閉校式

議員行動報告

(平成29年10月22日～令和元年9月30日)

Table with columns for dates and activities, including council meetings and public events.

Main table of council activities with columns for dates, council members, and specific actions taken.

Continuation of the council activities table, detailing various public and administrative events.



出席した行事や催しです。